

# 初期キャリア研究者にとっての共同研究の意義 —可能性、苦悩、戦略—

多くの初期キャリア研究者が「共同研究」に興味を持っているようです。ところが、共同研究が初期キャリア研究者にとってどのような意味を持ち（可能性）、また実際に共同研究のメンバーになってから何を経験し（苦悩）、それにどう向き合ってきた（戦略）かについて知る機会はほとんどありません。

今回のセミナーでは、共同研究の経験が豊富な方々をお招きし、その経験を共有したいと思います。ふるってご参加下さい！

- ▶ 日時：2024年2月11日（日） 14:30-17:30（無料）
- ▶ 開催方法：ハイブリッド（対面及びオンライン（ZOOM））
- ▶ 場所：同志社大学新町キャンパス、または今出川キャンパス（締め切った後、改めてお知らせします）
- ▶ 対象：本学会の初期キャリア研究者（入会検討中の方を含む）

14：30－14：40 開会挨拶および趣旨の説明

14：40－15：35 基調講演「学際的研究としての社会福祉学の挑戦」  
全泓奎先生（大阪公立大学都市学科・防災研究センター教授）  
プロフィール

博士（工学）。居住福祉政策、福祉支援、移民政策、貧困と社会的排除や社会的包摂、社会開発、東アジア福祉政策の比較研究などの専門家。

15：50－16：35 話題提供

孔 栄鍾氏（佛教大学社会福祉学部准教授）

高橋順一氏（新見公立大学健康科学部専任講師）

孫 詩彥氏（国際日本文化研究センター助教）

16：35－17：20 グループワーク

17：20－17：30 閉会挨拶および事務連絡

18：00－20：30 懇親会（会場付近のお店、参加費：4,000円）



参加を希望される方は、下記のグーグルフォーム、上記のQRコードのいずれかにてお申し込みください（申し込み〆切：2024年1月21日）。

グーグルフォーム：[https://docs.google.com/forms/d/1PATISnPdld5LNQJDwdHYhw0-ymwB0j2b1d8Mzr8Os3c/viewform?pli=1&pli=1&edit\\_requested=true](https://docs.google.com/forms/d/1PATISnPdld5LNQJDwdHYhw0-ymwB0j2b1d8Mzr8Os3c/viewform?pli=1&pli=1&edit_requested=true)

お問い合わせ先：[csnet.salon@gmail.com](mailto:csnet.salon@gmail.com)（研究支援委員会CS-NETサロン企画担当：姜民護・保田真希）